

社会福祉施設における地山、岩石を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	10～11	敷地内で利用者とレクリエーションで筍堀りをしている時、斜面2.5m程の所にある筍をスコップで掘ろうとした際にバランスを崩して転落した。	36～9	1
6	10～11	当施設主催のレクリエーションフェスタ（利用者、保護者、職員合同の運動会）のラリーで走っていた際に、誤って躓いて転倒してしまい、負傷した。	26～99	50
7	16～17	知的障害者支援施設（定員60名）の敷地内の土手にて、利用者の対応中に手で払いのけられた際に後ろ向きに転倒。臀部、腰部、背部、後頭部を打った。	52～49	30
7	7～8	ゴミ出しのため、坂を下りた道路へ傘を差して捨てに行く途中、20cm位の陥没している所で転び、左足首を捻り、右膝を打撲し、右の掌に擦り傷を負った。湿布を貼り、消毒するが、痛みが酷くなり腫れてきたため、仕事帰りに受診した。診断の結果、骨に異常はないが、靭帯を損傷しているためギプス着用が必要となった。	54～9	1
10	10～11	広場に於て、園児と追いかけてっこをしている最中、公園に置いてあった遊具（丸太）をジャンプして飛び越え着地した際、左足を捻ってしまった。	46～29	10
10	11～12	路上で道路脇の斜面に登ってクサギ取りをしていた。（当事業場で利用者とともに草木染めの作業をしており、クサギはその材料に使っている。）斜面から降りる時に足が滑り道路に左手をついた際左手に激痛が走りうずくまった。当事業場に戻っても痛みが引かなかった。	31～49	30

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html